

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

1. 建物概要

建物名称	中越通運株式会社新潟南物流センター	
建設地	南区	
用途地域	指定なし	
建物用途	工場	
竣工年	2010年8月 予定	
敷地面積	8,736.09 m ²	
建築面積	5,467.18 m ²	
延床面積	5,604.68 m ²	
階数	地上1F	
構造	S造	
評価の段階	実施設計段階評価	
評価の実施日	2010年5月24日	

2. CASBEE新潟の評価結果

 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{47}{42} = 1.1$
---	----	--

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	2.9		バリアフリー	Q2.1.1.3 1.0
			維持管理	Q2.1.3 4.0
			更新性	Q2.3.3 3.6
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.1		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.2
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	3.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 3.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.7		節水	LR2.1.1 4.0
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 5.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	2.0		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 2.0

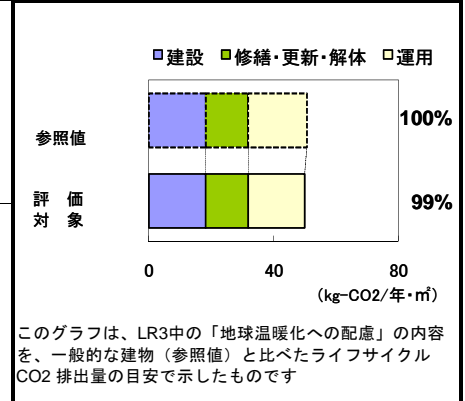
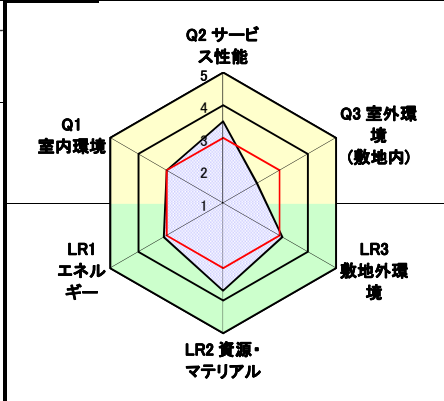
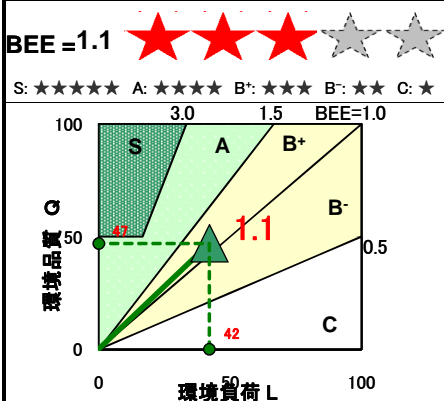
4. 新潟市の重点項目の配慮事項

新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。
 本計画における外壁材(イソバンド: 金属系断熱パネル)を採用することにより、断熱効果を高め熱負荷を削減することにより、空調エネルギーコストの削減、CO2排出量の削減に効果を上げています。また、同材を使用することにより、メンテナンスの頻度を軽減しています。これらの事柄から、維持管理、建物の熱負荷抑制等の評価対象外への項目へも配慮を行っています。

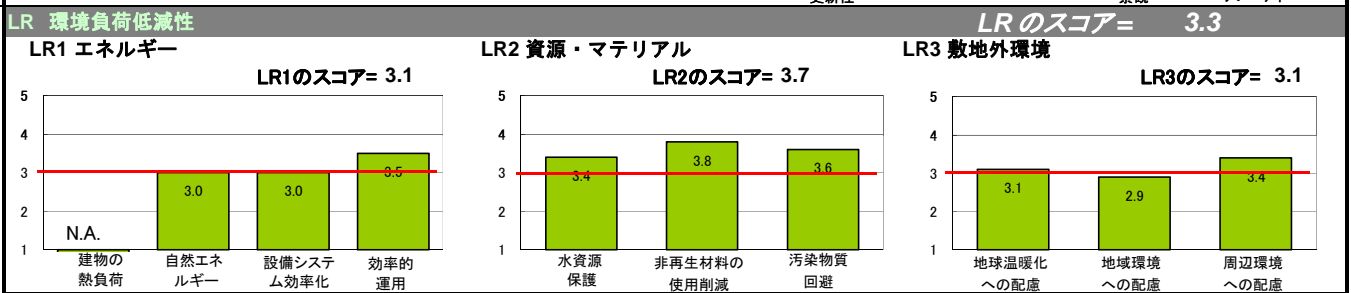
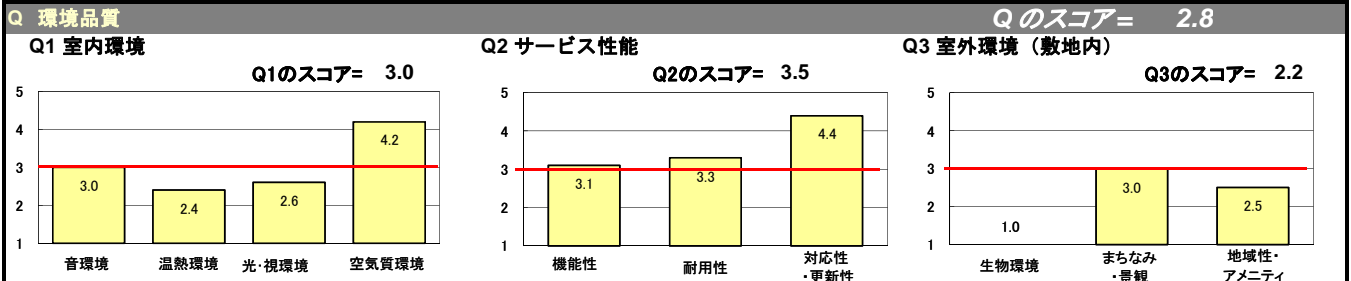
CASBEE[®]新潟 | 評価結果内訳 |

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.1)

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) | **2-2 大項目の評価(レーダーチャート)** | **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価(バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合		その他
新潟市南区に立地する物流センターである。主に低温倉庫を建物用途としている為、断熱処理に充点を置き又、省エネへの配慮、良質な作業環境の確保を目標として計画しています		建設現場にリサイクルステーションを設け廃棄物の分別をし削減に取り組む 建設現場の仮設便所へ雨水の再利用を実施 建設残土の搬出を削減するよう場内にて再利用
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
化学汚染物質による空気汚染を防止、カビ、ダニの発生を防止	広く開放的な執務スペースを確保。物流センターとしての機能と周辺の交通を配慮して配置を計画	前面道路からの距離を十分に確保し街並みに威圧感を持たせない様に配置を計画 車輛の滞留スペースを確保
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
設備機器の高効率化 電力消費モニターの設定 倉庫の照明にメタルハライドランプの採用	主要水栓に節水コマを設置、また少水型機器を用い水資源を省力	隣接する農業用水路の環境整備 車輛による周辺道路の交通への悪影響を起こさないよう滞留スペースを確保

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される